土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

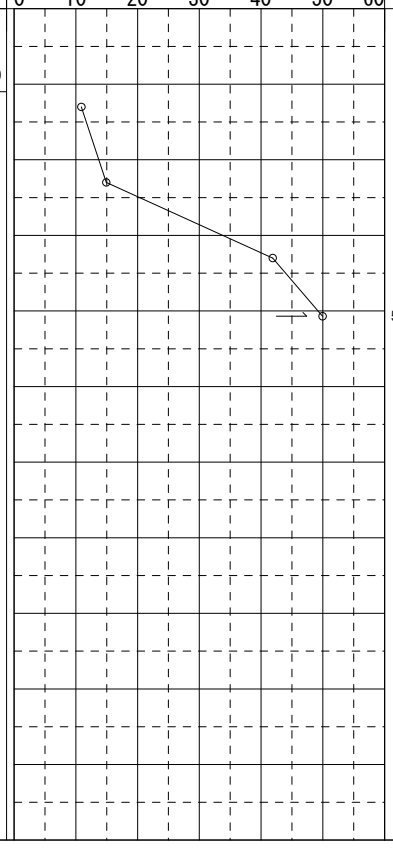
調査名	国道182号　設計業務委託（交通安全・下加茂工区）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	福山市加茂町下加茂(X=-157294.585,Y=107934.381)			北緯	34° 34’ 35.1469″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和2年11月10日～ 令和2年11月11日	東経	133° 20’ 35.0634″
調査業者名	明伸建設コンサルタント株式会社　福山営業 電　話　084-973-1360	主任技師	村上　慎治 地質調査技士登録番号：第10605号	現場代理人	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号	コア鑑定者	末重　宜洋 地質調査技士登録番号：第16177号
ボーリング責任者	加藤　金豊 地質調査技士登録番号：第8649号						
孔口標高	TP 33.32m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	東邦D2G-58					
総削孔長	6.00m	エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東洋BP1		

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	31.62	1.70		砂質土		暗褐～茶灰	rd3		盛土 上部は耕土状を呈す 細～中砂主体とし，粗砂を混入する 径1～3cmの礫を少量混入する	11/10 1.10
2	30.62	2.70		礫混じり砂		茶褐	rd3		河床堆積物 砂は中～粗砂主体 径1～5cmの亜円礫を混入する 深度的に礫の混入量に増減がみられる	
3	29.42	3.90		花崗岩		黄茶褐			花崗岩の強風化土 風化が著しく進行し，砂質土状コアで採取される 石英・長石類は風化変質している 岩級区分：DM	
4	29.17	4.15		花崗岩		淡茶褐			花崗岩の風化土 風化が進行し，砂～細礫状コアで採取される 岩級区分：DH	
5	27.32	6.00		花崗岩		淡茶褐			見かけ上柱状コアで採取するが、亀裂が発達している 岩芯部まで風化し軟質である 所々，硬質な部分を残す 岩級区分：CL	
6										
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	1.15	3	3	5	11/300		
15	1.45 2.15	5	4	6	15/300		
42	2.45 3.15	17	14	11	42/300		
50以上	3.45 4.05 4.09	50/40			50/40	40	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/10
				11/11